

フラッシュ自動精製システム 仕様書

令和7年11月

地方独立行政法人大阪産業技術研究所

森之宮センター

1. 調達の背景及び目的

本装置は、シリカゲルカラムを用いた有機化合物の分離精製を行う機器である。合成した化合物の迅速かつ効率的な分離を行うために本装置を導入する。

2. 調達物品の名称、数量及び構成内訳

名称： フラッシュ自動精製システム

数量： 1 式

内訳： フラッシュ自動精製システム 1 式

3. 機器の性能、機能、規格等

3-1. フラッシュ自動精製システム（付属品含む） 1 式

3-1-1. 検出器およびフラクションコレクターを備え、フラッシュクロマトグラフィーによる試料の自動精製ができること。

3-1-2. 溶媒を 2 つ以上設置できること。

3-1-3. 付属品として専用の試験管ラックとシリカゲルカラムを有すること。

3-1-4. 波長 200-400 nm での吸収度変化を検出できるユニット（光源および検出器）を備えていること。

3-1-5. 溶媒自体の紫外光吸収値を用いた減算処理によるベースライン補正機能を有すること。

3-1-6. 試料の最低流速が 1 mL/min 以下かつ最大流速が 150 mL/min 以上であること。

3-1-7. 印加可能な圧力上限が 15 bar (1.5 MPa) 以上であること。

3-1-8. 条件設定や結果の確認を行うためのソフトウェアがインストールされたデバイスを備えており、溶媒耐性タッチスクリーンで操作できること。

3-1-9. 装置本体および付属のソフトウェアに対応した蒸発光散乱検出器が増設可能であること。

4. 設置場所

大阪府大阪市城東区森之宮 1 丁目 6 番 50 号

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター 603 号室

5. 納入期限

令和 8 年 1 月 30 日（金）

6. 検査

検査項目は以下の通りとする。

- ・員数検査
- ・外観検査
- ・性能検査

なお、検査用の試料及び消耗品は受注者が用意すること。

7. 職員研修

本システムについて取り扱い方法などに関する研修を当研究所職員に対して行うこと。

なお、研修用の資料、必要な試料および消耗品等は、受注者が用意すること。

8. その他

- 8-1. 装置の搬入、設置または据え付け、調整、研修および検収に要する諸費用は受注者の負担とし、受注者が所定の納入期限までに速やかに行うこと。
- 8-2. 装置の搬入、設置または据え付け、付帯工事、接続作業および調整等を行うにあたっては、事前に担当者とは十分協議すること。また、これらの実施にあたっては、当研究所の業務に支障をきたさないよう十分に配慮すると共に、万一、業務や建物設備等に損害が生じた場合は、受注者の責任において、これを補償すること。
- 8-3. 装置の操作方法に対して疑義が生じた場合には、日本国内にサービス拠点を有し、技術員による派遣指導、教育、技術的相談またはその他の適切な方法によって速やかに応じられる体制が整えられていること。
- 8-4. 装置納入後 1 年を装置の保証期間とし、正常な使用状況において発生した故障については、速やかに無償にて修理または交換すること。
- 8-5. 装置納入後 1 年経過後の有償期間においても、故障が発生した場合は、速やかに故障部品の納入や補修を行うなどの措置を講じ、当研究所の業務に支障をきたさないようにすること。
- 8-6. 当該装置が製造中止になったとしても、製造中止後 7 年間は装置の性能維持に必要な部品の供給を確保すること。
- 8-7. 装置の性能維持に必要な部品を供給することができる工場を有し、速やかな部品供給を行うことができる体制であること。
- 8-8. 装置の説明、使用方法、点検方法、トラブル時の対処方法などを記した日本語のマニュアルを 1 部提出すること。
- 8-9. 機械に関する危険性等の通知について規定している労働安全衛生規則第 24 条の 13 に基づき「残留リスク一覧」を提出すること。
- 8-10. 操作用のデバイスにプレインストールされているソフトウェアに対しては、必要なライセンス認証を行い、プロダクトキーが記載されたパッケージ部材等、ライセンスを証明できるものを付属すること。
- 8-11. 本仕様書に定める以外の項目で疑義が生じた場合は、双方協議のうえで対応すること。